

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
英語	2単位 進学と留学	英米文学	小林俊哉	2年次	春

授業のキーワード	アメリカ文学、イギリス文学、小説、演劇、詩
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	アメリカ文学やイギリス文学を中心に、単なる文学史や時代思潮の概観にとどまらず、可能な限り作品テキストに直接ふれながら、今日の我々に訴えかけるメッセージを探り出します。
履修のアドバイス・ 前提科目等	「文学」は言葉の芸術。時間と場所を越えて、創作された人物が私たちに訴える「思い」をくみ取ることにより、人間が生きることの喜びと意味を、論理的にまた芸術的に考えます。文学は、コトバは、あなたが考えるよりずっとおもしろい！文学の豊かな世界に遊んでみませんか。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	はじめに		第9講	シェイクスピア	四大悲劇を中心に、彼の作風を味わいます。
第2講	論文の書き方	2回提出してもらった論文について、その仕組み、書き方、考え方などを指導します。	第10講	ロマン主義の作家たち	きら星のごとく現れたこの時代の代表作品を、その時代背景も含めて概観します。
第3講	文学へのお誘い	「文学」のもつ仕組み、その諸要素について概観します。	第11講	ホーソン	代表作『緋文字』に見られる人間模様、原罪と救いなどのテーマについて考えます
第4講	文学へのお誘い	前講に引き続き、文学の仕組みを概観します。	第12講	トウエイン	児童文学としても名高い『ハックルベリー・フィンの冒険』のもつ魅力を探ります。
第5講	イギリス文学	イギリス文学の全般を学びます。	第13講	フィッツジェラルド	この悲劇がなぜ「華麗」なのか。『華麗なるギャツビー』の緻密な構造を考えます。
第6講	イギリス文学	前講に引き続きイギリス文学の特徴を学びます。	第14講	ヘミングウェイ	きわめて男性的なこの作家の特質を『日はまた昇る』、『武器よさらば』の二作品を通して概観します。
第7講	アメリカ文学	アメリカ文学の全般を学びます。	第15講	試験	
第8講	アメリカ文学	前講に引き続きアメリカ文学の特徴を学びます。	評 価 方 法		中間論文 40% 期末論文 60%
備 考 (関連する資格・試験等)					
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		
西田実 『アメリカ文学史』(成美堂)					